NIE実践報告

1．タイトル：**☆岐阜県内の製造業を知ろう！**

2．学校名

岐阜県立岐南工業高等学校

3．実践者名（代表者名）

関口　健

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

LHR(1年1組:機械科　39人)

6．単元（本時の学習課題）名

機械科の生徒として、県内製造業の底力を知る。

7．目標(狙い)

1年にわたって岐阜新聞に連載されていた「ものづくりの現場-　岐阜の底力-　」から、特に製造業を選び、その記事を読み比べることで岐阜の製造業の底力を知り、自身の進路意識形成の一助とする。

8．評価の視点

①新聞記事からしっかりと情報を読み取ることが出来るか。　②できれば、記事でわからなかったことをインターネットとかを利用して調べられるか。　③学んだことをうまく仲間に伝えられるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

LHRとしての実践であり、年間指導計画の中の一つのテーマという位置づけ。
ただし、1時間で完結出来ない内容であり、2時間をかけている。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

前もって13の班を作っておく。

①新聞の読み取り

1.本校のネットワーク上にある記事を読み比べ、その中から最も興味が持てる企業の記事をプリントアウトする。

2.あらかじめ配布されたフォームに従って必要事項をまとめる。

②発　表（本時）

3.レポートをまとめる。

4.順に発表する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

ある班の感想：「KVKという会社のことを耳にすることはあっても、実際にどのようなことをしているのか、どんな物を主に作っているのかあまり知りませんでした。が、こうして記事を読んでみると、様々な工夫をしてすごく頑張っていることがわかりました。」‥‥概ね好感を持って受け止めていたのではないか。

12．成果と課題

本校生徒の多くは日頃新聞を読む習慣がないが、そういった生徒に、新聞の、しかも日頃学習している内容と深く関わる岐阜県の製造業に関する記事を読み、考え、まとめ、発表させることができたという意味では収穫があった。進路学習という意味でもプラスになった。

ただ、この記事から、さらにインターネット等を利用して学びを深めていってくれればと願っていたが、この取り組みではそこまでたどりつくことができなかった。今後、データベースをより充実させ、データを簡単に引き出せて読み比べ、学びを深められるような環境を作っていきたいと思っている。